

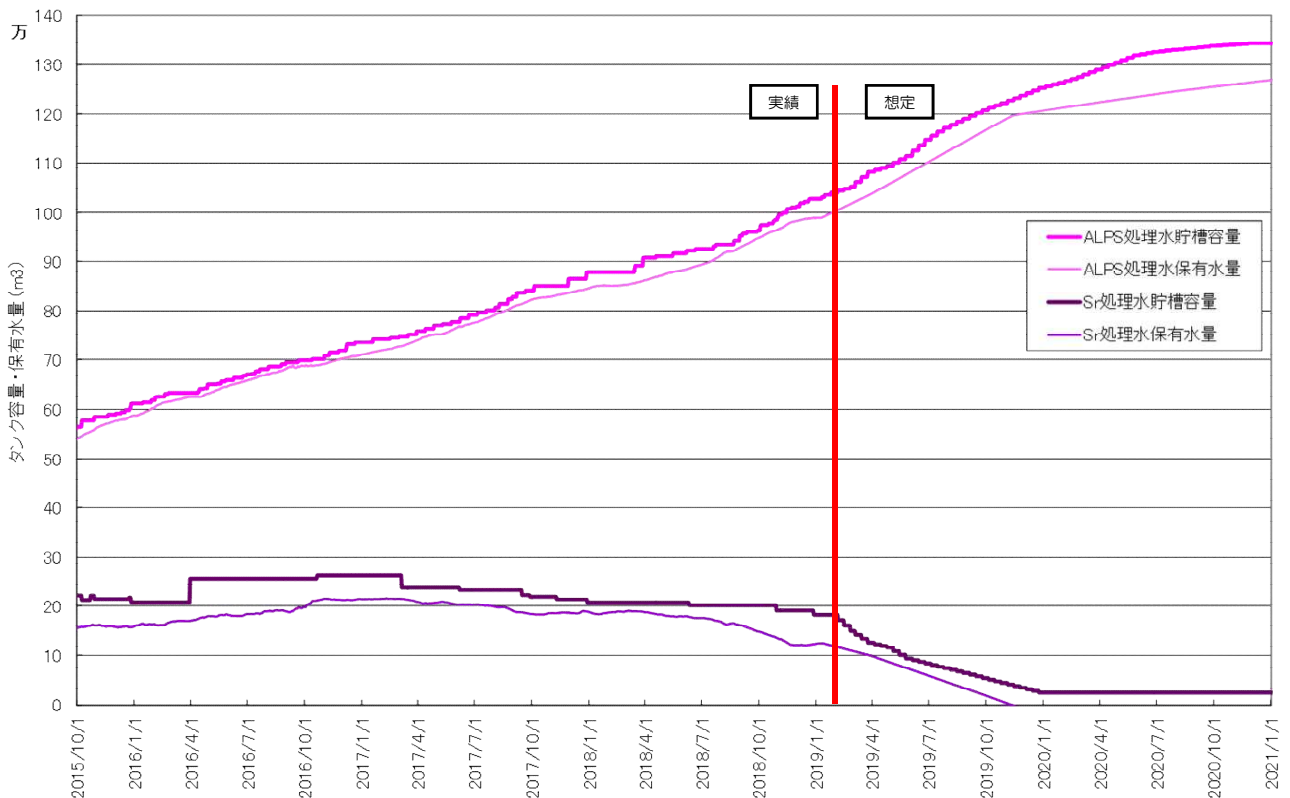
タンク建設進捗状況

2019年2月28日



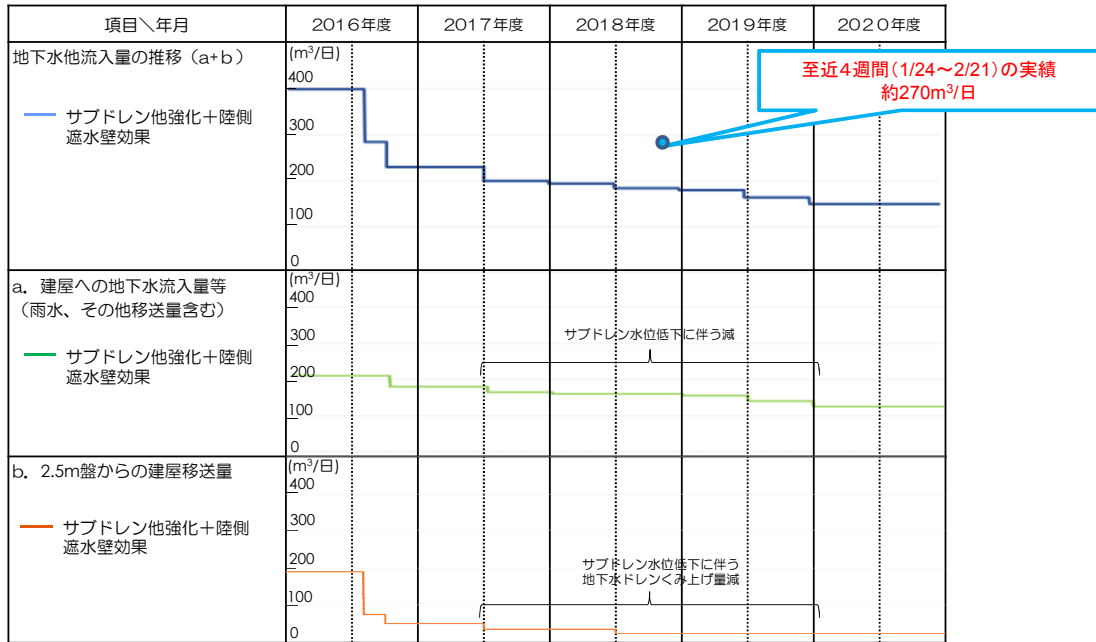
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. 水バランスシミュレーション（サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果）



水バランスシミュレーションの前提条件

➤ サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース



2. 溶接タンク建設状況

タンクリプレースによる溶接タンク建設容量の計画と実績は以下の通り（～2020年3月）

溶接タンクの月別建設計画と実績

下線は計画 単位: 千m³

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
2018	4.8	10.5	23.7	13.9	3.6	8.7	19.4	14.4	15.2	12.7	<u>12.3</u>	<u>9.8</u>	<u>149.0</u>
2019	<u>33.4</u>	<u>10.2</u>	<u>25.6</u>	<u>13.1</u>	<u>6.6</u>	<u>5.3</u>	<u>4.0</u>	<u>2.6</u>	<u>4.0</u>	<u>5.3</u>	<u>7.9</u>	<u>9.2</u>	<u>127.2</u>

溶接タンク計画と実績(全体)

単位: 千m³

	計画 (2020.12時点)	実績 (2019.1時点)
タンク総容量	約1,365*	約1,036.6

*含: Sr処理水用の再利用分 (約98千m³)
Sr処理水用 (約25千m³)

●上記のタンク建設計画は「建屋滞留水水位低下計画」ならびに「地下水流入量(想定)」には十分に対応可能な計画となっているが、状況に応じ適宜見直しを図りつつ建設を進めていく。

2-2. タンク建設進捗状況

エリア	全体状況
B	2017/1/30フランジタンクの解体作業着手。2017/9/11フランジタンク全20基解体・撤去完了。外周堰等撤去した範囲よりタンク基礎を構築中。2018/9/18 タンク設置開始。
E	フランジタンクの解体作業中
H3	2017/5/29フランジタンクの解体作業着手。2017/9/5フランジタンク全11基撤去完了。タンク基礎の切削を完了し、タンク基礎構築完了。2018/6/22 タンク設置開始。基礎構築ならびにタンク設置中。
H5	2017/1/23 H5エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/3/15 H5北エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/4/5 H5エリアタンク設置開始。 2018/6/28 H5, H5北フランジタンク解体・撤去完了。 基礎構築・タンク設置実施中。
H6	2017/3/28 地下貯水槽No.5 (H6北の北側) 撤去作業着手。 2017/6/26 地下貯水槽No.5撤去完了。 2017/9/11 H6エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/2/16 H6北エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/9/12 H6エリアタンク設置開始 2018/9/20 H6・H6北フランジタンク解体・撤去完了。 基礎構築・タンク設置実施中。
G6	2017/11/20 フランジタンクの解体作業着手。 2018/7/12 フランジタンク解体完了。 2019/1/14 タンク設置開始 地盤改良・基礎構築・タンク設置中
G1	鋼製横置きタンク撤去中(覆土撤去含む)。地盤改良・基礎構築実施中
G4	2018/9/13 G4南フランジタンクの解体作業着手。フランジタンク解体作業実施中。

4

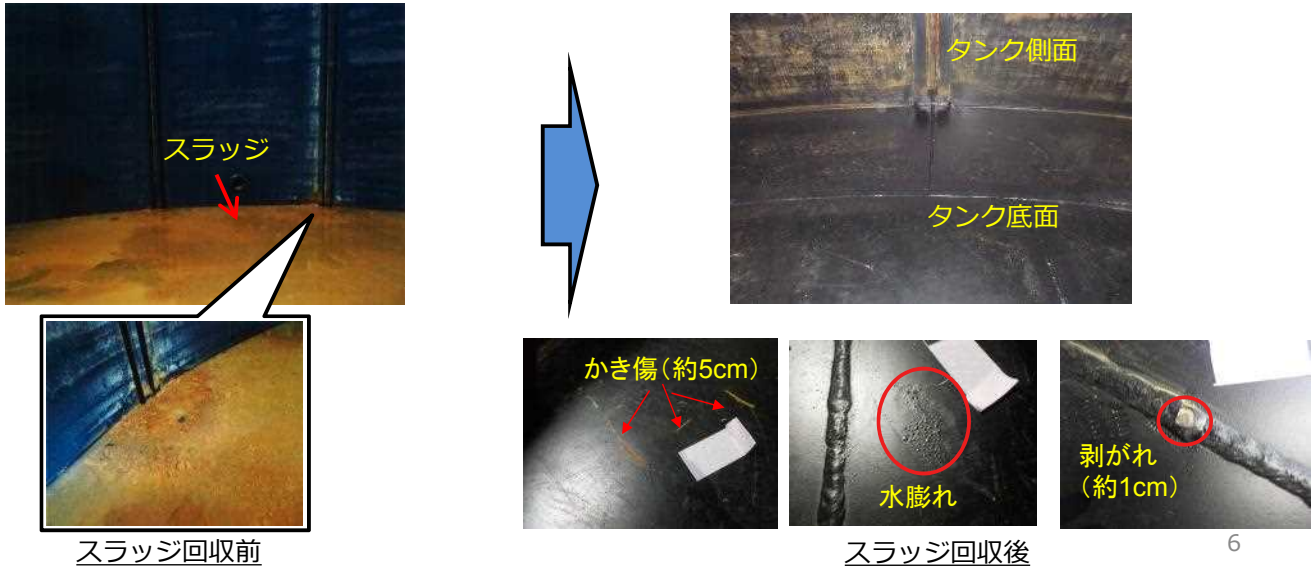
2-3. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
B	リプレースタンク44基分：2018/6/28 実施計画変更認可
E	タンク解体分：2018/9/10 実施計画変更認可
H3	リプレースタンク10基分：2018/8/23 実施計画変更認可
H5, H6	H5エリア, H6(I)エリア リプレースタンク43基分：2018/5/31 実施計画変更認可 H6(II)リプレースタンク24基分：2018/8/23 実施計画変更認可
G6	タンク解体分：2017/10/30 実施計画変更認可 リプレースタンク38基分：2018/7/20 実施計画変更申請, 2018/11/28, 12/14, 2/19 実施計画補正申請 2019/2/22 実施計画変更認可
G1	G1南エリア リプレースタンク23基分：2018/2/20 実施計画変更認可 G1エリア リプレースタンク66基分：2019/2/13 実施計画変更申請
G4	G4南エリア リプレースタンク26基分：2019/2/13 実施計画変更申請
C	タンク解体分：2018/7/23 実施計画変更申請, 2018/11/6, 2019/1/8, 2/5 実施計画補正申請 2019/2/13 実施計画変更認可

5

3-1. 溶接型タンク（G3エリア）で発生した硫化水素に関する対応（速報）

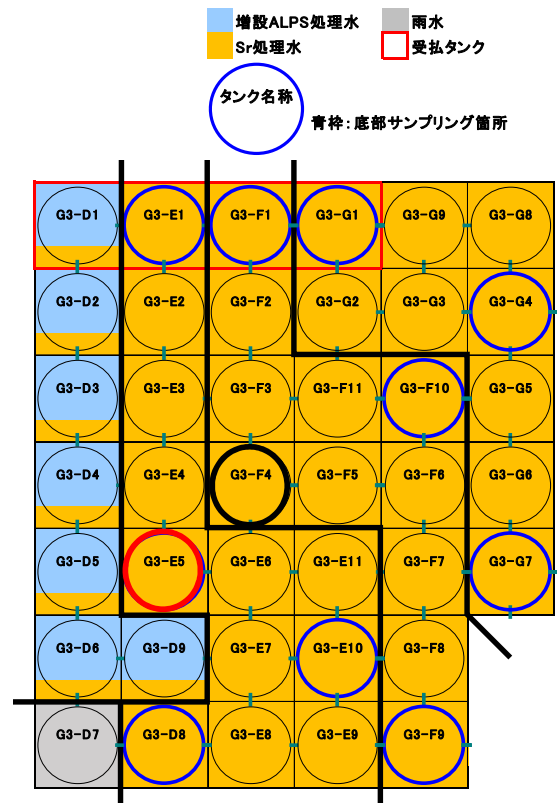
- 昨年12月、溶接型タンク（G3エリア-E1タンク）内部で硫化水素の発生を確認（12/12プレス済）
- 対応状況
 - G3エリアタンクの水質分析結果から、代表タンクとして、浮遊物質濃度が高く、硫酸塩還元細菌が比較的多いG3-E5タンクを選定（次頁参照）
 - G3-E5タンクの水の移送先確保のため、近接するG3-F4タンクの水抜きを実施した（当該タンクでは硫化水素は確認されていない）。
 - G3-F4タンク底部のスラッジを回収した後、内面の目視点検を実施した結果、全体的に塗装は健全であったが、底面にかき傷、ブリストア（水膨れ）および溶接面の塗装剥がれを確認した。今後、当該箇所の補修塗装を実施する。
 - 3月に、G3-E5タンクの水抜き・内面点検を実施予定



3-2. 内面点検代表タンク選定について

- G3エリア各タンク底部水について、SS(浮遊物質)濃度および硫酸塩還元細菌数を確認する為にサンプリングを実施
- ↓
- G3-E5タンク底部水において、浮遊物質濃度が高く、硫酸塩還元細菌数が比較的多い状況を確認
- ↓
- G3-E5タンクの内面点検を計画

試料名称	pH	Cl [mg/L]	SS [mg/L]	SO4 [mg/L]	Feクラッド [mg/L]	S [%]	TOC [mg/L]	硫酸塩還元細菌数
G3-E1	7.5	1000	41	330	7.5	77	16	軽
G3-G1	7	1100	90	360	27	3.8	4.3	なし
G3-F1	7.4	1400	53	390	16	3.8	1.8	なし
G3-E5	7.4	1200	110	330	32	32	2.6	強
G3-D8	8	1400	2	190	1.2	6.9	0.8	なし
G3-E10	7.4	1000	38	350	11	8.2	3.8	なし
G3-F10	7.6	1400	72	450	22	3.8	7	なし
G3-F9	7.7	1700	67	450	19	2.6	1.9	なし
G3-G7	7.8	1000	30	290	13	4	2.4	軽
G3-G4	7.4	1000	73	290	25	5.1	2.7	中



	2019年2月	2019年3月	備考
G3-F4タンク 内面点検	タンク内清掃・残水移送 [黒塗り]	マンホール復旧 [黒塗り]	
		タンク内面確認 [黒塗り]	
G3-E5タンク 内面点検 (硫酸塩還元細菌が確認されたタンク)		水移送 [黒塗り]	
		タンク内清掃・残水移送 [黒塗り]	マンホール復旧 [黒塗り]
			タンク内面確認 [黒塗り]
清掃対象タンクの調査	タンク内清掃 対象タンク調査 [黒塗り]		

- G3エリア等のSr処理水を貯留している溶接型タンク群のうち約10万m³分はSr処理水をALPS処理した後、ALPS処理水タンクとして再利用する予定である。
- 本事象を受けて、上記の再利用に当たりタンク内清掃が必要な対象タンク数を調査（2～3月）し、全体計画への影響を検討する。

【参考】タンクエリア図

